

朝日新聞 2019年6月6日「声」への投稿掲載

(平成25年度入学) 高校3年(六か年コース)H組 小山 健史 君

幸福を妨害 共存の価値あるか

高校生 小山 健史
(大阪府 17)

僕は、他者の生活や心に侵入する人を好みません。自分は自分、他者は他者と区別するのが普通だと思います。他者の行動などにいちいち文句をつける人を見ると、少し嫌な気持ちになります。

人は共存して生きるものだと思いません。ですが、人を傷つけるようなことをする人と共存する価値はあるのか、と思います。人にはどこか良い所があるで

で、悪い所ばかり見ても仕方がないと言う人もいます。しかしそれはあまりに理想的な考えではないでしょうか。

憲法13条には、国民の幸福追求権は「公共の福祉に反しない限り」最大の尊重を必要とする、とあります。言いかえれば、公共の福祉に反する人には認められないのです。なぜ周囲が我慢しなければならないのでしょうか。他人の幸福を妨害する人を「個性」や「自由」などの言葉で守るのは間違っていると思います。